

財政計画ワーキング・グループ における検討課題

財政計画ワーキング・グループにおける検討課題

<財政計画ワーキング・グループの検討課題>

公営企業の財源を構成する料金、企業債、一般会計負担(繰出金)について、バランスのとれた構成とするための考え方、留意点等について検討を行う。

1. 今後の望ましい料金体系と適切な料金水準について

- ①更新投資の財源を確保するための料金算定について、公営企業における現状等を踏まえて検討。
- ②現下の料金収入が減少傾向にあることを踏まえ、基本料金と従量料金のあり方について検討。
- ③料金改定を行う場合のプロセス、留意点等について検討。

2. 適正な企業債残高について

- ①料金による償還を基本とした場合に、妥当と考えられる企業債残高の水準について検討。
- ②世代間負担公平の観点から、更新投資の財源である企業債の適正な起債額の水準について検討。

3. 一般会計負担(繰出金)について

一般会計の負担のあり方について検討。